

令和元年度 第2回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

令和元年8月15日（木）18:25～20:00
横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者 10名…岩堀、石塚、小串、川島、小池、佐久間、妻沼、藤野、三澤、小澤
欠席者 なし
事務局 2名…市民生活課 櫻井、里吉
指定管理者 2名…NPO法人YMCA コミュニティサポート 沼崎、山本
傍聴者 0名

配布資料 1 市民活動サポートセンター例月実績報告・利用者の声
2 夏のボラ市（夏のボランティア・市民活動体験）2019 中間報告
3 のたろんフェア 2020 企画（案）
4 サポートセンターデータベース登録団体一覧・新規異動分
5 市民公益活動団体継続活動者表彰について（非公開）
・ 生涯現役フォーラム&ひくてあまた月間「協力企画」募集案内
・ 第7回いきいき市民塾

1 報告事項

1-（1）利用状況、利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から、資料1-1及び1-2に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・現時点では利用者数、利用団体数ともに前年比で増となっている。
- ・コピー機、印刷機の利用状況については利用の増減はあるものの、概ね例年並となっている。
- ・活動紹介コーナーについては、センターエリア・フロントエリアともに概ね順調に稼働している。
- ・センターエリアでの展示後フロントエリアに移動して展示を継続するケースや、先にフロントエリアで予告を兼ねた展示により、本展示のセンターエリアでの展示に呼び込むなど、団体によって様々な工夫をして使われている。
- ・利用者の声については、5月に展示に関するご意見、7月には施設に関する意見や団体の登録に関する意見があった。展示については見に来てくれた方にわかりやすいように団体に案内するようにし、施設に関してはスタッフにで対応できる部分について順次対応していくこととし、登録に関しては市と協議のうえ、回答に記載のとおり対応することとした。

（市民生活課：久里浜・追浜について）

- ・利用者について、久里浜は前年比で増加。追浜は前年比で減少している。
- ・5月の利用がどちらも多い理由は、今年度は大型連休があったことが影響していると推測。
- ・コピー機・印刷機の4～7月までの利用料金の収入状況について、コピー機は、久里浜は前年比で減少。追浜は前年比で増加。

- ・印刷機は久里浜・追浜ともに減少
- ・コピー機については、設置場所が多くあることから利用が分散していることが想定され、印刷機については、総会シーズンの前である4、5月には一定の利用があるが、ネット印刷が普及しつつあることから、今後そちらにシフトしていくことが懸念される。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・展示コーナーに掲示する連絡先については。様式があるのか
→展示物とのバランスの兼ね合いがあるので、必要項目として団体名、責任者名、連絡先の記入を求めることとし、様式などは展示団体にお任せしている。(指定管理者)
 - ・7月の利用者の声を受けて登録時の対応を見直すという事であるが、他都市ではどういう対応しているか等のデータはあるか。→データとしては所有していない。サポートセンターとしては、データ収集の必要性等を検討し今後の対応について変更している。(指定管理者)
 - ・登録票に男女の内訳の記載を求めることについてサポートセンターから相談を受け、市の担当部局である人権・男女共同参画課に相談をしたところ、当該項目で統計を取る必要がないのであれば、項目としてない方が良いのではないかという意見があった。(市民生活課)
 - ・団体の活動内容によっては男女の内訳を知りたい場合もあるかもしれない。
 - ・対応の変更はいつから行ったのか。
- 団体の登録については、8月から見直すとともに、サポートセンターのホームページ上に掲載している団体の情報についても既に対応している。(指定管理者)
- ・一部の施設ではタトゥー等を入れている方の来館を制限している場合もあるが、サポートセンターはどうか。→あまりにも露出が激しい場合には、上着を着ていただくように誘導する場合もあるかもしれないが、利用について特に制限は設けていない。(指定管理者)

1-(2) 夏のボランティア・市民活動体験 2019 中間報告

指定管理者から、資料2に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・現在期間中であるが、イベントの約7割が終了している。
- ・6月に関東学院大学へ参加予定の3団体とともに出張PRに行き、約150名の学生に授業中のPRを実施した。成果として、参加団体からは学生の参加があったと聞いている。また、7月には県立保健福祉大学へボラセンも含めた5団体で約30名の学生にPRを実施した。人数は昨年よりも少なくはあったが、参加した学生はとて熱心に聴いていただき、PRの後の質問時間も熱心に質問している姿が見受けられた。
- ・その他にはFMブルー湘南に参加団体が出演してPRも行った。
- ・サポートセンター内で夏のボラ市のポスターコンクールを実施しており、今年度は投票についても順調に行われている。
- ・昨年は台風等の影響でイベントを中止した団体もあったが、今年は順調に活動できている模様。
- ・学校にチラシを配布した成果として、私立の高等学校からのボランティアの参加もあった。
- ・SNSも活用しているが今年度はツイッターのアクセス数の増が見られた。今年新しく参加された団体の関係者がSNSを活用している世代の方が多いことが理由であると思われる。
- ・資料には記載がないが、参加団体の報告会を9月13日(金)19時から開催する予定である。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・公立の高等学校では単位取得の条件の1つに 35 時間ボランティア活動を行うという事があるらしく 2名の学生が活動に参加したが、学校によって規定が異なるのか対応方法が様々であった。
- 今年には特にその件でのサポートセンターへの問い合わせが多く、単位取得条件の選択肢の1つに1箇所 35 時間のボランティアを行うということがあるようである。定期的な活動をしている団体以外ではこの条件を満たすのが難しいので、現在、指定管理者である YMC A コミュニティサポートとして学生ボランティアを受け入れ、学生の希望があれば現場体験として他の団体の活動に参加してもらうといったカリキュラムを作る準備を行っている。また、ボランティアへの学校の関わり方も差があり、問い合わせについても学生が直接行うほか、学生の親からあるなど様々である。今後サポートセンターが間に入る関係を作ることを目的として各学校へ訪問したいと考えている。サポートセンターが間に入ることによって、団体に行く前にオリエンテーション等を実施し、円滑な参加が図れればと考えている (指定管理者)
- ・受け入れは年間を通じて行うのか。
- 受け入れは年間を通じて行うが、夏休みの時期や年度末間際に比較的多くなる。
- ・団体側もサポートセンターで受け入れてるという事であれば対応がしやすいと思う。
 - ・いつごろから始める予定か。
- なるべく早く、できれば夏休み期間中に動きたいと考えている。(指定管理者)
- ・ボラ市のチラシをみた方が来てくれたので、チラシの効果があつた。

1- (3) のたろんフェア 2020 について

指定管理者から、資料3に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・開催日時は2月の第2土日ということで、令和2年2月8日と9日の二日間。
- ・今月実行員会を立ち上げ、第1回実行委員会を8月22日(木)に開催する。
- ・産業交流プラザは今年度から指定管理者が変わったが、今年度もイベントを実施予定ということで、実行委員会のメンバーにも入っていただいたので、連携していく予定である。
- ・今年度はショッパーズプラザ横須賀が改装工事中であるため、ステージイベントをどのように行っていくか、実行委員会での検討内容となっている。
- ・20周年企画についても実行委員会と検討する予定。
- ・参加団体については、会場のキャパシティの問題もあるが、昨年以上の参加を目指したい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・イベントの概要というのは、実行委員会が開催された後に報告として提示されるものではないか。
 - ・今回の実行委員の顔ぶれをみるとベテランが多いように思われる。継続することも大切であるが、イベント自体に面白さを加えるには新しい人を入れることも良い手ではないかと思う。
- 担当もなるべく新しい人と思いをかけているが、今回は20周年という事で立候補されたベテランの方もいた。(指定管理者)
- ・実行委員の回数に制限はあるのか。
- 特に回数制限は設けていない(指定管理者)

- ・実行委員の人数に決まりはあるのか。
- 特に定めはないが、例年10名～15名程度となっている。
- ・イベントの開催時期が2月の理由は、この時期は気候的にも厳しいので人が集まりにくいのではないか。また、サポートセンターのPRも目的の一つであるため、のたろんフェアの来場者を増やすために、人が集まるような企画や子供向けの飲食の出店や企画を増やしたほうがよいのでは。
- いただいたご意見については、実行委員会へフィードバックする。
- なお、開催時期については、これまでも議論を重ねてきたが、このフェアは市内の市民活動団体が一堂に会するイベントであるため、各団体の活動と重ならず、団体が参加しやすい時期という事で2月となったという経緯があるため、現在のところ実施時期を変更するのは難しい。（指定管理者）
- ・開催時期については、イベント終了後の参加団体報告会の場等で意見を聞いてみても良いかもしれない。
- いただいたご意見については実行委員会に諮りたい。（指定管理者）

2 議題

2-（1）サポートセンターデータベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から、資料4に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・現在三浦に活動拠点があり、横須賀のサポートセンターに登録している団体は、三浦の市民交流センターができたことにより登録を変更する必要があるのか。
- 横須賀市内が活動範囲であれば登録を継続することは可能。なお、現在三浦の市民交流センターは団体の登録については未整備である。なお、三浦の市民交流センターは有料の貸室がメインとなっており、当センターはオープンスペースがメインとなっているので、団体によっては用途で使い分けるといふ棲み分けができる。（指定管理者）
- ・仮に三浦での団体の登録が始まったとしても、横須賀での団体登録の変更は不要であるという事を周知しておく必要があると思われる。

2-（2）市民公益活動継続活動者表彰制度について

市民生活課から制度の概要と、指定管理者から資料5に沿って表彰対象推薦候補団体について説明した。
※会議の内容は非公開とする。

3 その他

事務局からは特になし。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・特になし

連絡事項

（指定管理者）

- ・市民活動サポートセンター20周年感謝祭及び関連企画に関する案内。
- ・生涯現役フォーラム（11月16日）の案内と関連企画（ひくてあまた月間）募集のお知らせ。

- ・いきいき市民塾第7回（9月15日）のお知らせ。
- ・第3回運営懇話会は令和元年11月21日（木）18：30～サポートセンターにて開催予定。

以 上